

## G7サミットに向け、B7からの 提言を歓迎する

外務大臣

はやし  
よしまさ  
林 芳正



B7東京サミット歓迎レセプションにお招きいただき誠にありがとうございます。世界経済を牽引し、G7各メンバーの産業界を代表する皆さまの訪日を心から歓迎するとともに、B7として、国際社会の諸課題について議論を重ね、各国政府へ政策提言活動に取り組みれていることに敬意を表したいと思います。

また、十倉会長を始め経団連の皆さまには、日頃から多大な御支援をいただいていること、改めて御礼申しあげます。

今日の国際社会は、コロナ禍に続き、国際秩序の根幹を揺るがすロシアによるウクライナ侵略に直面し、歴史的な転換期にあります。こうした中で、法の支配に基づく国際秩序を守り抜くとのG7の強い意志を世界に示すことが重要です。

私は、昨日、G7長野県軽井沢外相会合から戻ってまいりましたが、そこでは、まさにそのような観点から、G7の外相と突っ込んだ議論を行い、G7として力強いメッセージを出すことができました。

5月のG7広島サミットでは、今回の外相会合の成果も

踏まえ、ウクライナ、核軍縮・不拡散、経済安全保障といった課題についてさらに議論を深めていきたいと考えています。同時に、グローバル・サウスと呼ばれる国々が強い関心を持つエネルギー・食料安全保障を含む世界経済や、気候変動、保健、開発といった地球規模の課題についても、G7としての対応を主導していきます。ジェンダーやデジタル化も重要な課題です。こうした議題について議論するため、G7広島サミットには、8つの国と7つの国際機関を招待したアウトリーチ会合を開催します。

これまで触れた諸課題に効果的に対応するためには、各国政府のみならず、経済界の皆さまの視点や、皆さまとの緊密な連携が非常に重要です。G7広島サミットに向け、B7から、日本政府に提言をいただけることを歓迎いたします。

最後に、B7東京サミットの開催を心からお祝いするとともに、明日からのB7東京サミットが活発で実り多き議論が交わされること、また、海外からいらしたB7関係者の皆さまにとっては日本を楽しむ素晴らしい機会となることを祈念して、挨拶いたします。

(注1) 2023年4月16～18日、長野県軽井沢町にて開催

(注2) G7外相コミュニケ(和文仮訳) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100492726.pdf>